

要旨

ディズニー映画が社会に与えた影響

私がこの論文を書こうとしたきっかけは、就職活動をする上で女性の活躍の場が増えたと感じた上で、自分の好きなディズニー映画に登場するプリンセスの変化と類似していると考えたからである。社会に出て活躍する女性やシングルマザーとして働く女性、自分のありのままの身体を大事にする女性など、女性に関する固定概念に変化が生まれた。そして、ディズニープリンセスがお城にいただけでなく、自ら戦うことや結婚を望まずに幸せを掴みとるなど、行動に変化が起きた。このような変化に着眼点を置き、ディズニー映画を視聴した上で調査し、現代の社会における変化と比較した。また、女性に関するだけでなくジェンダーの問題にも結びつくため、SDGsの活動なども調査した。

調査を行い比較した結果、映画が公開されると同時に、初期のディズニー映画に比べて多くのプリンセスが自主的になり、しきたりに反抗することや、女性として理想とされている体型ではなくなった。そして現代の社会では、義足の女性などが雑誌の表紙に起用されるなど、新たな時代となった。さらに、プリンセスはドレスという固定概念がある中でパンツスタイルが現れたように、現代の制服などにおける女性はスカートという決まりに変化が生まれ、スラックスを認める学校などが増えてきた。また、プリンセスが王子様と必ず結婚をするという結末に変化が生まれたように、結婚をしないという変化に加え、事実婚、別居婚、同性婚など結婚の形にも変化が生まれ、女性の幸せは男女の結婚という考えが当たり前ではなくなった。

このように女の子が憧れとなるディズニープリンセスが変化の対象となることで、私たちの考え方も変えていき、多様性が生まれるのである。私たちはこの変化を受け入れ、固定概念を無くしていく必要がある。